第 56 回　生殖発生毒性評価勉強会開催案内

2026 年 4 月 1 日
生殖発生毒性評価勉強会運営委員会

時下ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

第 56 回生殖発生毒性評価勉強会開催の案内を申し上げます。

今回は胎児の外表や内臓を実際に観察したことがない人や電子添文に記載されている外表・内臓所見の意味がわからないという人のために、外表・内臓の基礎知識から、標本の観察、評価、添文記載の解釈までわかりやすく説明したいと思います。製薬・化学・農薬・食品会社等の若手研究者や妊婦・授乳婦関係の薬剤師などで初歩から勉強したいと思われる方はぜひご参加下さい。なお、参加者には日本先天異常学会の生殖発生毒性専門家受験資格のための評点 2 点が付与されます。

*本案内につきまして、貴施設での関係者の皆様に、ご連絡のほどよろしくお願い申し上げます。

☆☆

日　時：　2026年5月23日（土）　13:00～17:00

場　所：　日本新薬株式会社　講堂　（京都市南区吉祥院西ノ庄門口町 14）
https://www.nippon-shinyaku.co.jp/company_profile/profile/offices.php

交　通：　JR 西大路駅 徒歩 5 分

会　費：　勉強会 無料、懇親会 4,000 円

申込み：　5/12（火）までに「勉強会のみ参加」または「勉強会および懇親会に参加」を明記の上、事務局に申し込みをお願いします（参加者名簿を事前に提出する必要があるため、当日参加はできません）。

内　容：「生殖発生毒性試験における外表・内臓観察の解釈」
・外表観察（齋賀雅記、新日本科学）
・薬物による外表異常（山田理愛、日本新薬）
・内臓観察
・薬物による内臓異常（角谷友美、住友ファーマ）
・内臓変異（渡邉みなみ、塩野義製薬）
・添付文書における外表・内臓所見の記載（下村和裕、Meiji Seika ファルマ）
講演：母胎児間シグナルリレー（金沢医科大学 教授 八田稔久）
報告：迅速透明化標本作製法 検討経過

☆☆

懇親会：17:30～19:30 京串（京都市下京区真苧屋町218　Garnet Starting Bldg. 3F）
https://tabelog.com/kyoto/A2601/A260101/26041671/dtlmap/

生殖発生毒性評価勉強会事務局
Meiji Seika ファルマ（株）　非臨床開発部　下村和裕
E-mail: kazuhiro.shimomura@meiji.com